

会員のみなさま

JSPEHSS 副会長の木塚朝博です。

最近、特に、AI(Artificial Intelligence)の功罪を強く認識するようになりました。もちろん頼ることが“悪”であるとは思っていません。個人的にも、知らないことや、歳のせいか (!?) 忘れてしまった用語の意味を AI に聞くのが日常になりました。一方、丸投げ的な使い方はいかなるもののでしょうか。知識や情報の取得を AI に頼るのは確かに効率的ですが、“思考の放棄”をしては、人として自らの存在意義を否定してしまうリスクがあります。研究活動においても、安易に AI を頼ると、図らずもデータの捏造など研究不正に関わってしまう場合がありますので、各位、十分に気をつけていただきたいと思います。

さて 5 月 23 日に開催された 2025・2026 年度第 8 回理事会から重要なお知らせです。

1) 第 76 回大会 (北翔大学) について

明後日、5 月 27 日 13 時に演題登録が締め切られます。もし、まだの方がおられましたら、演題登録と参加登録をお忘れなきようお願いいたします。さらに、下記の各登録も、それぞれのページをご一読ください。

「参加登録・演題登録」

<https://pub.conf.it.atlas.jp/ja/event/jspehss76>

「若手研究者の参加費免除について」

<https://pub.conf.it.atlas.jp/ja/event/jspehss76/content/youngresearcher>

「アクセシビリティ・サービスの取り組み」

<https://pub.conf.it.atlas.jp/ja/event/jspehss76/content/accessibility>

「託児所のご利用案内」

<https://pub.conf.it.atlas.jp/ja/event/jspehss76/content/nursery>

「ライフイベント支援に関するご案内」

<https://pub.conf.it.atlas.jp/ja/event/jspehss76/content/lifeevent>

2) 若手研究者を対象とした実態・意識調査の実施について

若手研究者委員会から提案のあった「体育・スポーツ・健康科学分野における若手研究者の教育・研究・生活・就職・労働環境の現状を把握し、今後の学会運営および若手研究者支援施策の検討に資する基礎資料を得ることを目的として、若手会員 (39 歳以下) を対象とした実態・意識調査を実施する」ことが承認されました。前回の調査から約 10 年を経た変化を明らかにし、今日的課題を認識・解決していくことはとても重要と思います。若手会員の方は、是非ご協力ください。今回「若手」ではなくなってしまった方には申し訳ありませんが、前回は調査に参加し今回も参加できる会員の方は、是非が非でもご協力くださるようお

願います。

3) 代議員定数と女性比率について

代議員定数における女性比率は、地域選出でも専門領域選出でも、全体の女性比率（約20%）に近づけるよう設定しています。2027・2028年度の代議員定数でも、20%を踏襲しますが、そろそろ20%から30%を目指して議論を進めることも必要であるとの意見がありました。地域によって、専門領域によって、女性比率が高い（30%超）ところ、低い（10%台）ところがあり、一律は難しいのかもしれませんが、会員の皆様からも良い案を出していただければ幸いです。

3) 2026年日本スポーツ体育健康科学学術連合第6回大会について

来る6月27日に開催されます学術連合主催（本学会後援）のシンポジウム「気候変動とスポーツの持続可能な関係づくり」について再度ご案内いたします。参加申し込みは下部フォームより願います。6月13日（土）締め切りとなっています。

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSewHiLRLRJI7w5MMsWQsGYVnXw-t19nyZ1xUTgIE2fDrCv3Qg/viewform>

第8回の理事会の議事次第は以下の URL からご覧いただくことができます。

<https://taiiku-gakkai.or.jp/wp-content/uploads/2026/05/jspe20260523.pdf>

以上